

関研究室

Seki Laboratory

“つながる”にもっと安心を



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

メディア情報学部
情報システム学科
教授 関 良明
YC 3号館7階

学生間におけるTwitterを活用した安否情報共有システム CaSSIS (Catechetical Safety Information Sharing System utilizing twitter)

長塚真輝

研究目的

- ・安否情報を個人が簡単かつ効率的に共有する
 - ⇒伝えたい個々の状況を簡単かつ的確に表現することが必要
 - ⇒迅速な安否確認は二次災害を防ぐ効果も
- ・利用者の負担をできるだけ軽減させる
 - ⇒災害時も平常時のシステムとほぼ同じ使用感で利用できることが望ましい
- ・従来のサービスは有料であったり、家族間での安否確認が目的
 - ⇒安価で友人間での安否確認ができるアプリの提供

提案内容

- ・半自動的に安否情報を投稿するツイッタークライアントアプリ
 - ⇒通常時と非常時両方で使えるアプリ
 - ⇒設定深度以上で自動起動
- ・問答形式による緊急時利用負担の軽減
 - ⇒システム側の問い合わせに「はい/いいえ」で答える
 - ⇒個人の状況にあった安否情報を発信できる
- ・本システムのフォロワーのツイートを一覧表示
 - ⇒大量に流れるタイムラインから安否情報を探すのは大変
 - ⇒本システムから自動発信されたツイートを一覧で表示

